

2020年2月29日 TMM講座

# 医学論文の書き方 ～道具立て

新潟大学医歯学総合病院  
魚沼地域医療教育センター  
高田 俊範

# この症例・研究を発表したい！

- こんなめずらしい症例みたことありますか？
- この薬でこんな副作用が出ました..
- こんなに重症だったけど救かりました！
- この薬、治療法を使ったら治りました！

患者さんの役に立つことを  
発表しましょう！



# 「パラグラフ」を意識して考察を書きましょう

## Introduction

I agree with the opinion that ...

## Body

First, Japanese people need to try ...

Second, the government should take ...

Finally, people who are ...

## Conclusion

I think that ...

主題文だけをつなげて  
読めば、言いたいことが  
わかる

# 症例報告の構成

- 1, 表紙(タイトル)
- 2, 総括(Abstract)
- 3, 導入(Introduction)
- 4, 症例(Case report)
- 5, 考案(Discussion)
- 6, 謝辞(Acknowledgement)
- 8, 文献(References)
- 9, 表(Tables)
- 10, 図の説明(Figure legends)
- 11, 図(Figures)

# 学会発表

- 1, 表紙(タイトル)
- 2, 総括(Abstract)
- 3, 導入(Introduction)
- 4, 症例(Case report)
- 5, 考案(Discussion)
- 6, 謝辞(Acknowledgement)
- 8, 文献(References)
- 9, 表(Tables)
- 10, 図の説明(Figure legends)
- 11, 図(Figures)

# 学会発表スライド・ポスター作成のときに役に立ちます！

## 伝わるデザイン

研究発表のユニバーサルデザイン

目

はじめに

読みやすく

見やすく

バリアフリー

実践

### 資料作成に、+デザイン

研究者や研究に関わる大学生、大学院生は、一年を通じて研究室ゼミや学会などで研究成果の発表を行わなければなりません。また、近年、科学者でない人々に対する一般向けの講演（アウトリーチ活動）の機会も増えてきています。他にも、研究論文や報告書を書いたり、研究費調達のために予算申請書やプロジェクトの提案書を作成したりすることも、研究者にとって欠かせない仕事です。これらはいずれも情報を他者（研究仲間や審査員、一般市民）へ伝えようとする行為であり、正確かつ効果的な情報の発信が望まれます。しかし、自己流で資料を作成して、闇雲に情報を発信していても、スムーズに情報は伝わりません。ときには誤った情報が伝わってしまい、研究の価値を正当に評価してもらえないことさえ起こりえるのです。



## × ルールを知らないと

整理して美しく

- 読みやすいレイアウトは存在する！
- ・ 行間・字間・書体・改行に注意を払う。
  - ・ 文字のサイズや太さに強弱をはっきりつける。

- 答えはひとつではない！
- ・ 状況や媒体により最適なレイアウトは異なる。
  - ・ センスやスタンスも人により様々である。

ルールが分かれば誰でも改善！

## ○ ルールを知っていると

整理して美しく

- 読みやすいレイアウトは存在する！
- 行間・字間・書体・改行に注意を払う。
  - 文字のサイズや太さに強弱をはっきりつける。

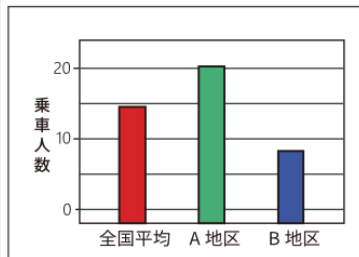
- 答えはひとつではない！
- 状況や媒体により最適なレイアウトは異なる。
  - センスやスタンスも人により様々である。

ルールが分かれば誰でも改善！

## × ルールを知らないと

資料の可読性と理解度

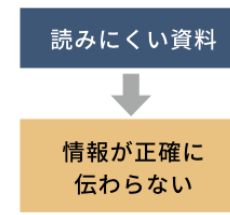
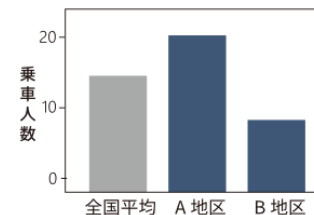
- ・ 読み手の負担を減らすことが重要なことです。
- ・ ほんの少しの工夫と労力で、読み手の負担を大きく減らすことができます。



## ○ ルールを知っていると

資料の可読性と理解度

- 読み手の負担を減らすことが重要なことです。
- ほんの少しの工夫と労力で、読み手の負担を大きく減らすことができます。



## ✔ プレゼン資料には「ゴシック体、サンセリフ体」

ポスターやスライドは、懇切丁寧に文章を書いて内容を説明するものではなく、一般に、要点だけを端的に説明し、プレゼンテーションの補助的な役割をするものです。したがって、これらの資料の文章は「読む」というよりは「見る」という意味合いの強い要素になります。このような文章では、可読性（読みやすさ）よりも視認性（遠くからでもしっかりと字が認識できること）が求められます。そのため、プレゼンスライドや学会発表のポスターなどでは、全体を通じて視認性の高いゴシック体やサンセリフ体を用いるのがよいでしょう。

また、画面やスクリーン上では、解像度が低いため、明朝体は読みにくくなってしまいがち（横線が細くてかすれてしまう）なので、その点でもプレゼン資料では明朝体を避けるほうが賢明です。同様の理由で、細すぎるゴシック体もプレゼン資料にはおすすりできません。

### ✕ 明朝体

#### スライドタイトル

- 吾輩は猫である。名前はまだ無い。
- どこで生れたかとうと見当がつかぬ。
- 何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。
- 吾輩はここで始めて人間というものを見た。



・ 吾輩は猫である。名前はまだ無い。  
・ どこで生れたかとうと見当がつかぬ。  
・ 何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。

### ○ ゴシック体

#### スライドタイトル

- 吾輩は猫である。名前はまだ無い。
- どこで生れたかとうと見当がつかぬ。
- 何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。
- 吾輩はここで始めて人間というものを見た。



・ 吾輩は猫である。名前はまだ無い。  
・ どこで生れたかとうと見当がつかぬ。  
・ 何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。

## 基準② 太字・斜体に対応したフォントを選ぶ

### ✔ 太字に対応したフォントを選ぶ

文字を目立たせるために、太字（ボールド）を用いることはとても有効な手段です。したがって、Word や PowerPoint などのを使って資料を作成する場合、ちゃんと「太字になってくれる」フォントを使う必要があります。

太字に**非**対応

MSゴシック

MS明朝

太字に**対**応

メイリオ

游ゴシック

游明朝体

オリジナル

太字 太字 太字 太字 太字



PowerPoint上で  
太字にした場合

太字 太字 太字 太字 太字



## × 線が多い

品番	商品名	個数
NP3305	ピンセット	100
NK0005	消しゴム	25
NB0374	ボールペン	25
NK7308	ノート (A4)	25

	SS	d.f.	F	P
Latitude (L)	9.05	1	9.21	0.006
Morph (M)	1.95	1	1.98	0.174
L×M	0.01	1	0.01	0.980
Residuals	18.69	19		

## ○ 線を減らし、行間広げる

---

品番	商品名	個数
NP3305	ピンセット	100
NK0005	消しゴム	25
NB0374	ボールペン	25
NK7308	ノート (A4)	25

---

---

	SS	d.f.	F	P
Latitude (L)	9.05	1	9.21	0.006
Morph (M)	1.95	1	1.98	0.174
L×M	0.01	1	0.01	0.980
Residuals	18.69	19		

---

# 症例報告の構成

- 1, 表紙(タイトル)
- 2, 総括(Abstract)
- 3, 導入(Introduction)
- 4, 症例(Case report)
- 5, 考案(Discussion)
- 6, 謝辞(Acknowledgement)
- 8, 文献(References)
- 9, 表(Tables)
- 10, 図の説明(Figure legends)
- 11, 図(Figures)

# 学会発表

- 1, 表紙(タイトル)
- 2, 総括(Abstract)
- 3, 導入(Introduction)
- 4, 症例(Case report)
- 5, 考案(Discussion)
- 6, 謝辞(Acknowledgement)
- 8, 文献(References)
- 9, 表(Tables)
- 10, 図の説明(Figure legends)
- 11, 図(Figures)

# 引用文献のスタイル

- ・文献、著者数、et al. 年号の位置、巻、コンマ、ピリオド、“;”と“:”の使い分け、イタリック体などに注意。
- ・本文、(xx)あるいはxx)、()がなくxxだけのものもある。上付き<sup>あり</sup>なしなど。

投稿規定をよく読みましょう！

## 考 察

筋炎症状の軽微な、もしくは筋炎症状を認めない皮膚筋炎は、CADMとして定義される。CADM症例ではRP-ILDを合併する頻度が高く、現行のステロイドと免疫抑制剤を組み合わせた集学的治療後不良であるとする報告が多い<sup>1)~5)</sup>。実臨床で過性の改善が得られたのちに短期間に再増悪困難となる症例も存在するために、有効な

## 引用文献

- 1) Kameda H, et al. Combination therapy with corticosteroids, cyclosporin A, and intravenous pulse cyclophosphamide for acute/subacute interstitial pneumonia in patients with dermatomyositis. *J Rheumatol* 2005; 32: 1719-26.
- 2) Gerami P, et al. A systematic review of adult-onset clinically amyopathic dermatomyositis (dermatomyositis sine myositis): a missing link within the spectrum of the idiopathic inflammatory myopathies. *J Am Acad Dermatol* 2006; 54: 597-613.
- 3) 永田一真, 他. 抗CADM-140抗体が陽性であったamyopathic dermatomyositisに伴う間質性肺炎の4例. *日呼吸会誌* 2011; 49: 30-6.
- 4) Sato S, et al. Anti-CADM-140/MDA5 autoantibody titer correlates with disease activity and predicts disease outcome in patients with dermatomyositis and rapidly progressive interstitial lung disease.

## Introduction

*Legionella pneumophila* infection is an important cause of severe community-acquired pneumonia. Various extrapulmonary symptoms can develop during the clinical course of *Legionella* pneumonia. In addition, rhabdomyolysis-associated acute renal failure (ARF) and acute tubulointerstitial nephritis (ATIN) have been reported to develop following infection (1-3). Furthermore, complications of electrolyte imbalances, such as hyponatremia and hypophosphatemia, are distinct clinical features of *Legionella* pneumonia (4). Recently, acquired Fanconi syndrome has been reported to be a rare complication of *Legionella* pneumonia (5) and is suggested to be causative of these electrolyte imbalances (6).

## References

1. McConkey J, Obeius M, Valentini J, Beeson MS. *Legionella* pneumonia presenting with rhabdomyolysis and acute renal failure: a case report. *J Emerg Med* **30**: 389-392, 2006.
2. Daumas A, El-Mekaoui F, Bataille S, et al. Acute tubulointerstitial

## (日本呼吸器学会誌 [和文])

筆頭者のみを記載し（共著者については記載をせず，和文誌は他，英文誌はet alとする）．表題，雑誌名（医学中央雑誌及びPubMedの記載に従う）．年（西暦）；巻：頁（開始頁と終了頁）の順に記載する．

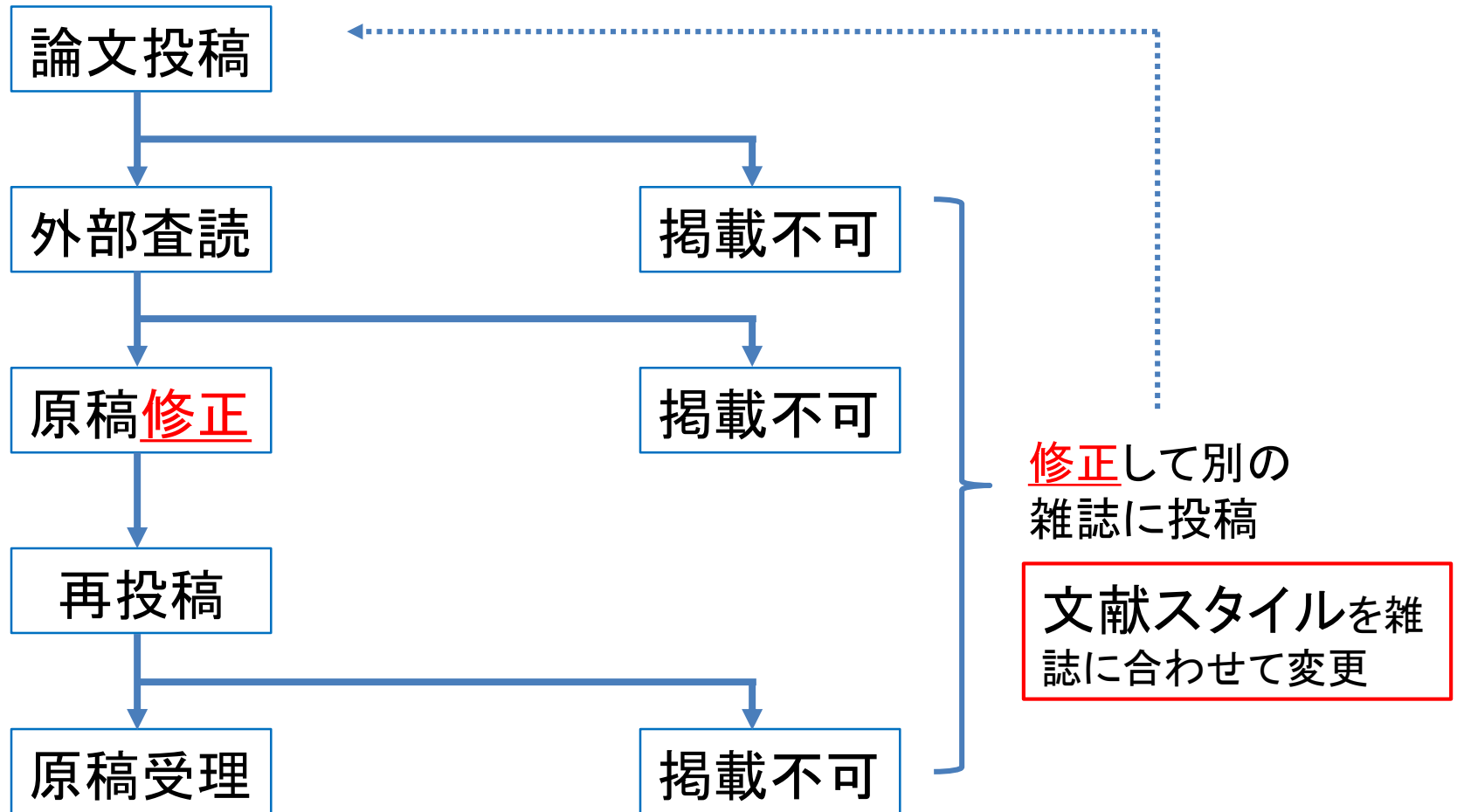
例： 和文誌 堀益 靖，他．縦隔原発混合性胚細胞腫瘍の1症例．日呼吸会誌  
2011；49：44-8.

英文誌 Denlinger LC, et al. Lower airway rhinovirus burden and the seasonal risk of asthma exacerbation. Am J Respir Crit Care Med 2011; 184: 1007-14.

## (Internal Medicine [英文])

1. Gottlieb SS, McCarter RJ, Vogel RA. Effect of beta-blockade on mortality among high-risk and low-risk patients after myocardial infarction. N Engl J Med 399:489-497, 1998.
2. Sugiyama Y, Takei H, Tsuyuzaki H, Furubayashi M, Hosaka T, Nakano M, Namba K. A Case of IgG4-related Disease Presented as Pericardial Effusion. Nihon Naika Gakkai Zasshi (Journal of Japanese Society of Internal Medicine) 103:1180-1182, 2014 (in Japanese).

# 論文を投稿すると...



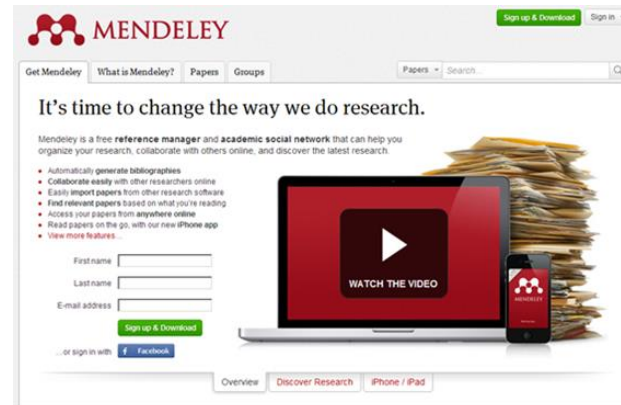
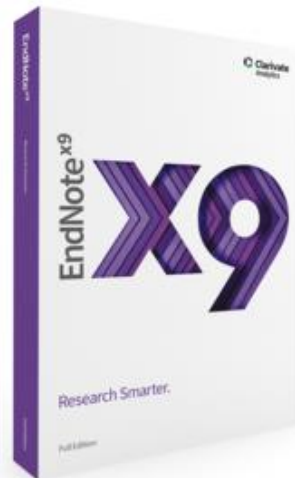
# 文献データベース作成ソフト

## (1) Endnote

- 有料(学生版で3.5万円くらい)
- 論文ごとにデータベースを作成

## (2) Mendeley

- 無料
- pdfファイルをそのままインポート可能
- 論文毎のデータベースは作成できない





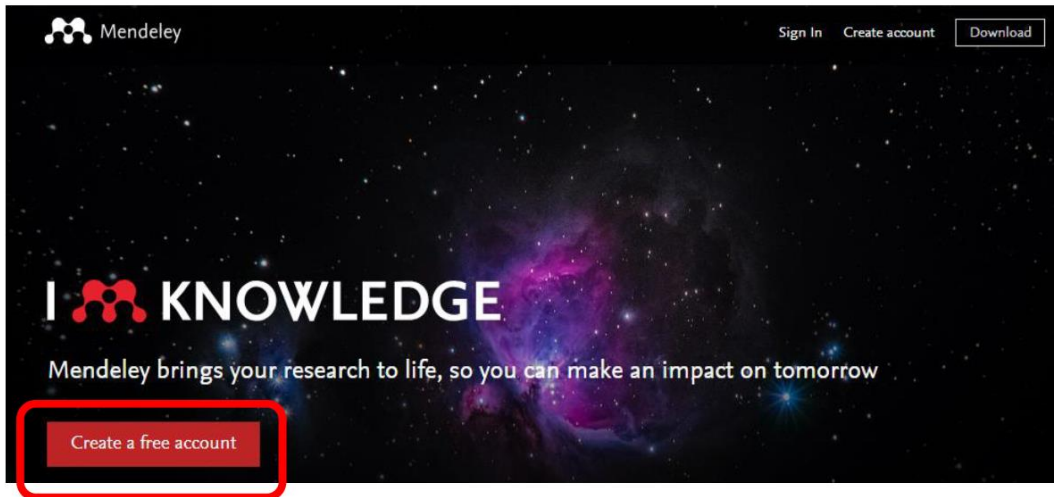
## 【ユーザ登録・学内/学外アクセス方法】

### Mendeley

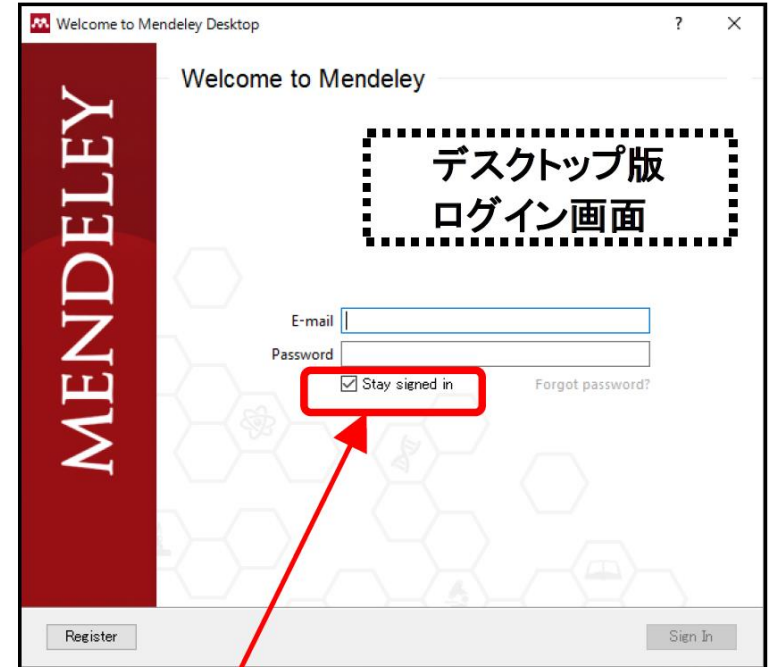
【学内・学外 OK】 GACoS 「定番データベース」から

#### ■ユーザ登録:

Mendeley を利用するにはユーザ登録が必要です。Science Direct のユーザ名でも利用できます。



※Create a free account から登録し、  
デスクトップ版をダウンロードしてインストール



※Stay signed in にチェックをしておくと  
オフラインでも利用ができます。

Windows の場合: Word の「参考資料」タブに[Mendeley Cite-O-Matic]が追加されます。

※Mac の場合: Word に「アドイン」というタブが追加され、操作メニューが選べるようになります。

sample2.doc [互換モード] - Microsoft Word

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト **参考資料** 差し込み文書 校閲 表示 RefWorks

Insert Bibliography  
Open Mendeley  
Style: American Psych...

Insert Citation

引用文献と文献目録 図表 索引 引用文献一覧

Mendeley Cite-O-Matic

RefWorks Citation Bibliography

(講習会練習用・論文原稿の例)

.....ということがわかった。  
.....と指摘されている。

著者名・キーワード等で検索

kelly

Understanding and Integrating Mindfulness Into Psychiatric Mental Health Nurs  
Kathleen Tusaie; K Edds - 2009 - Archives of Psychiatric Nursing  
Authors: Kathleen Tusaie, Kelly Edds

Interactive information seeking, behaviour and retrieval  
Ian Ruthven; D Kelly - 2011  
Authors: Ian Ruthven, Diane Kelly

Information behavior and seeking (Chapter 2)  
Peiling Wang - 2011 - Interactive information seeking, behaviour and retrieval  
Editors: Ian Ruthven, Diane Kelly

Mendeley Desktop

File Edit View Tools Help

Add Folders Related Sync **Cite** Cancel Help

Mendeley

Literature Search  
Mendeley Suggest

My Library

All Documents Edit Settings

Authors Title

Steens, Jennifer; Zuk, In Vitro

Melanie; Benchellal, Moha... Multipo

Nakane, Takeichiro; Impact

Go To Mendeley OK Cancel

Mendeley デスクトップ版で引用する文献を選択し、Citeを押す



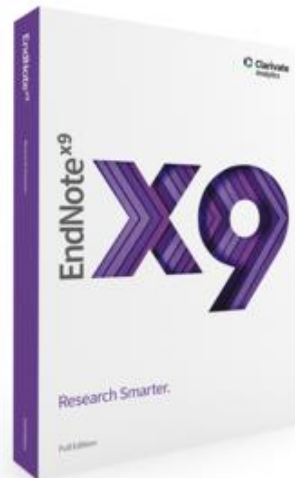
# 文献データベース作成ソフト

## (1) Endnote

- ・有料(学生版で3.5万円くらい)
- ・論文ごとにデータベースを作成

## (2) Mendeley

- ・無料
- ・pdfファイルをそのままインポート可能
- ・論文毎のデータベースは作成できない



# Endnoteでは何ができる?

d growth-hormone secretagogues (GHSs)<sup>1-3</sup>  
 ne (GH) from the pituitary. They act through  
 r for which the ligand is unknown. Recent  
 that an endogenous ligand for the receptor  
 ism for regulating GH release that is distinct  
 growth-hormone-releasing hormone (GHRH)

①文献の挿入箇所にカーソル  
 を持つてくる。

Chrelin reference  
 Showing 7 out of 7 references.

Author	Year	Title
Cheng	1989	The synergistic effects of His-D-Trp-Ala-Trp-D-Phe-Lys-N
Alkman	1993	Mechanisms of action of a second generation growth hor
Smith	1993	A nonpeptidyl growth hormone secretagogue
Howard	1996	A receptor in pituitary and hypothalamus that functions in
McKee	1997	Molecular analysis of rat pituitary and hypothalamic growt
Smith	1997	Peptidomimetic regulation of growth hormone secretion
Bowers	1998	Growth hormone-releasing peptide (GHRP)

②挿入する文献を選択する。

d growth-hormone secretagogues (GHSs)<sup>1-3</sup>  
 'mone (GH) from the pituitary<sup>4,5</sup>. They act  
 d receptor for which the ligand is unknown.  
 suggests that an endogenous ligand for the  
 . mechanism for regulating GH release that is  
 halamic growth-hormone-releasing hormone

③文献番号が記入される。

- Bowers, C. Y. Growth hormone-releasing peptide (GHRP). *Cell Mol Life Sci* 84, 1516-19 (1998).
- Smith, R. G. et al. Peptidomimetic regulation of growth hormone secretion. *Endocr Rev* 18, 621-63 (1997).
- Smith, R. G. et al. A nonpeptidyl growth hormone secretagogue. *Science* 260, 1640-3 (1993).
- Akron, M. S., Oswald, M., O'Brien, L. F., Ho, A. K. & Clark, C. L. Mechanisms of action of a second generation growth hormone-releasing peptide (Ala-His-D- beta His-Ala-Trp-D-Phe-Lys-NH<sub>2</sub>) in rat anterior pituitary cells. *Endocrinology* 133, 1286-91 (1993).
- Chang, X., Chen, W. W., Barata, A., Jr., Crowley, E. M. & Smith, R. G. The synergistic effects of His-D-Trp-Ala-Trp-D-Phe-Lys-NH<sub>2</sub> on growth hormone (GH)-releasing factor-stimulated GH release and intracellular adenosine 3',5'-cyclic phosphate accumulation in rat primary pituitary cell cultures. *Endocrinology* 124, 1791-6 (1989).

④本文の末尾に文献が記  
 入される。

文献データベース作成 (PubMedなど)

論文執筆

文献を論文中に挿入

reference形式決定

文献をreference形式に変換format

論文中に文献引用自動作成

References一覧自動作成

(修正)文献をunformat

本文修正、文献挿入

# 英文校正は必要?



英語  
翻訳  
English  
Translation

医学英語の対応可

JOHOは、英語をはじめ  
25か国以上の言語を扱う  
多言語翻訳会社です。

JOHO



メディカル論文リライトRESCUE

メディカル論文執筆RESCUE

論文強化・投稿RESCUE



医学翻訳を中心とした  
最高レベルの医学文献サービス  
を提供します

全訳 要約  
レビュー

silex 知の文献サービス

詳細はこちら →

- ・ネイティブチェックは、必ずしも必要ではありません
- ・構成された英文が本当に自分の言いたい通りに修正されているか、必ず確認しましょう

# Efficacy and Safety of Long-Term Sirolimus Therapy for Asian Patients with Lymphangiomyomatosis

Toshinori Takada<sup>1</sup>, Ayako Mikami<sup>2</sup>, Nobutaka Kitamura<sup>3</sup>, Kuniaki Seyama<sup>4</sup>, Yoshikazu Inoue<sup>5</sup>, Katsura Nagai<sup>6</sup>, Masaru Suzuki<sup>6</sup>, Hiroshi Moriyama<sup>7</sup>, Keiichi Akasaka<sup>1,8</sup>, Ryushi Tazawa<sup>8</sup>, Toyohiro Hirai<sup>9</sup>, Michiaki Mishima<sup>9</sup>, Mie Hayashida<sup>10</sup>, Masaki Hirose<sup>5</sup>, Chikatoshi Sugimoto<sup>5</sup>, Toru Arai<sup>5</sup>, Noboru Hattori<sup>11</sup>, Kentaro Watanabe<sup>12</sup>, Tsutomu Tamada<sup>13</sup>, Hirohisa Yoshizawa<sup>8</sup>, Kohei Akazawa<sup>14</sup>, Takahiro Tanaka<sup>3</sup>, Keita Yagi<sup>15</sup>, Lisa R. Young<sup>16</sup>, Francis X. McCormack<sup>17</sup>, and Koh Nakata<sup>8</sup>

<sup>1</sup>Unuma Institute of Community Medicine, <sup>3</sup>Protocol Data Center, <sup>7</sup>Division of Respiratory Medicine, <sup>8</sup>Bioscience Medical Research Center, and <sup>14</sup>Department of Medical Informatics, Niigata University Medical and Dental Hospital, Niigata, Japan; <sup>2</sup>Center for Clinical Sciences, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan; <sup>4</sup>Division of Respiratory Medicine, Juntendo University Faculty of Medicine and Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan; <sup>5</sup>Clinical Research Center, National Hospital Organization Kinki-Chuo Chest Medical Center, Osaka, Japan; <sup>6</sup>First Department of Medicine, Hokkaido University School of Medicine, Sapporo, Japan; <sup>9</sup>Department of Respiratory Medicine, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan; <sup>10</sup>First Department of Internal Medicine, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan; <sup>11</sup>Department of Molecular and Internal Medicine, Graduate School of Biomedical Sciences, Hiroshima University, Hiroshima, Japan; <sup>12</sup>Department of Respiratory Medicine, Fukuoka University School of Medicine, Fukuoka, Japan; <sup>13</sup>Department of Respiratory Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan; <sup>15</sup>Department of Clinical Pharmacology, Tokai University, Isehara, Japan; <sup>16</sup>Division of Pulmonary Medicine, Vanderbilt University School of Medicine, Nashville, Tennessee; and <sup>17</sup>Division of Pulmonary, Critical Care and Sleep Medicine, University of Cincinnati, Cincinnati, Ohio



Dr. Frank McCormack  
The LAM Foundation Scientific Director

sirolimus has been shown to stabilize lung function in patients with

書式変更: フォント:太字 (なし)

lymphangioleiomyomatosis (LAM) treated for a 12-month duration.

削除: Following demonstration that sirolimus stabilizes lung function in ...ymphangioleiomyomatosis (LAM) treated for ... [1]

To elucidate tolerability of long-term sirolimus medication in Asian

LAM.

**Methods:** We conducted an investigator-initiated clinical study of sirolimus in 63

women with LAM at nine sites in Japan. Subjects received sirolimus for two years at

削除: various types of ...AM patients ...t nine sites in Japan ... [2]

doses adjusted to achieve a trough level of 5-15 ng/ml.

削除: patients

コメントの追加 [y1]: Is this 90% for the 52 who

The abstract has several phrases or sentences that are awkwardly written or grammatically incorrect. The abstract needs review/revision.

Mean FEV<sub>1</sub>, FVC, and FEF<sub>25-75</sub> (93.5%) did not change significantly

and FVC remained stable during the 2-year study period and measured quality of life

削除: Neither ...EV<sub>1</sub> nor...nd FVC remained stable during ... [3]

(QOL) parameters were unchanged.

削除: .

削除: Measured ...easured QOL ...uality of life (QOL) ... [6]

**Conclusion:** Although long-term sirolimus treatment was associated with a large

number of AEs, most patients completed the two-year medication with high drug

上へ移動 [1]: Neither FEV<sub>1</sub> nor FVC changed at any time point, suggesting that sirolimus stabilizes the lung functions for more than one year.

compliance and stable QOL and lung function. Thus, long term sirolimus seemed to be

削除: thise longer-term medication





# grammarly

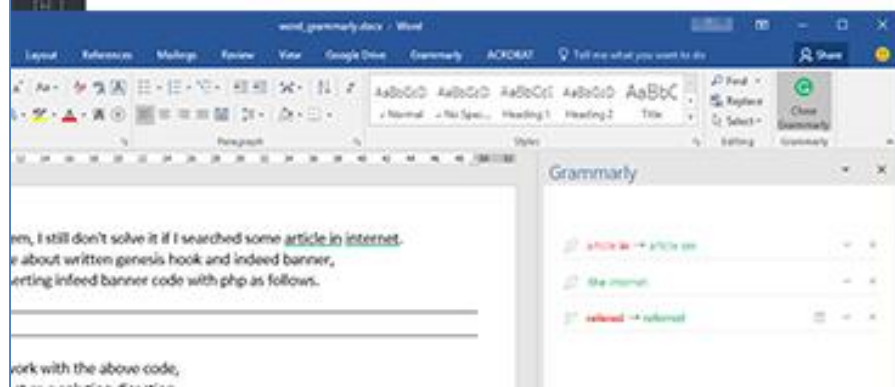
## Hello Grammarly!

Regarding this problem, I still don't solve it if I searched some article in internet.

I referred some article about written genesis hook and indeed banner, I tried to solve by inserting infeed banner code with php as follows.

Example code

- article in → article on
- the internet
- referred → referred
- php → PHP



# “Grammarly” soft

The image shows a screenshot of the Grammarly web interface. On the left is a dark sidebar with navigation links: My Grammarly, Profile, Subscription, Log out (Toshinori Takada), and Support. The main content area displays a document titled "Abstract" with several sentences. Grammarly has highlighted specific phrases with yellow underlines and provided suggestions in a "Clarity" panel on the right. The suggestions include "Passive voice" and four options to "Rewrite the sentence": "was diagnosed", "was treated", "was decreased", and "been established". The right sidebar shows performance metrics: 78 for Performance, 5 for Clarity, 1 for Variety, and 1 for Vocabulary. There are also options for Plagiarism and Human Proofreading.

**Abstract**

A 29-year-old woman was admitted to Niigata University Medical and Dental Hospital. She was diagnosed as clinically amyopathic dermatomyositis (CADM), showing Gottron sign on fingers, telangiectasia around nails, less myogenic symptom, and positive anti-CADM-140/MDA5 antibodies. Also, a chest CT scan showed interstitial lung disease (ILD) as one of the comorbidities. She was treated with oral prednisolone, cyclosporin A, and mycophenolate mofetil (MMF). The treatment was well tolerated and induced improvement of the disease. A concentration of anti-CADM-140/MDA5 antibodies in serum was decreased. Although treatment for CADM-ILD has not been established, MMF might be one of the effective drugs for this disease.

**Clarity** 5

Identifies confusing sentences and overlong paragraphs

**Passive voice**

This sentence appears to be written in the passive voice. Consider writing in the active voice.

I'LL ADDRESS THIS ✓ NOT HELPFUL × ...

- was diagnosed · Rewrite the sentence
- was treated · Rewrite the sentence
- was decreased · Rewrite the sentence
- been established · Rewrite the sentence

HIDE ASSISTANT

PERFORMANCE 78

SET GOALS

CLARITY 5

VARIETY 1

VOCABULARY 1

PLAGIARISM

HUMAN PROOFREADER

# この症例・研究を発表したい！

- こんなめずらしい症例みたことありますか？
- この薬でこんな副作用が出ました..
- こんなに重症だったけど救かりました！
- この薬、治療法を使ったら治りました！

患者さんの役に立つことを  
発表しましょう！

